様式３別紙1-２（No.　　）

令和　　　　年　　　月　　　日

指定研修機関番号

指定研修機関名

特定行為研修計画の概要

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 共通科目の概要 | | | | | | | | |
| １．共通科目の到達目標の設定の有無　　　　　　有　　　　・　　　　無 | | | | | | |  | |
| ２．共通科目の研修方法及び時間数　　　　　　　　　　　共通科目の時間数の総計(④の合計)　　　　　　時間 | | | | | | | | |
|  | 1. 共通科目名   （独自の科目名がある場合は括弧書きで併記） | |  | 1. 研修方法 | | | ③　評価  （上段：時間数、  下段：方法を記入） | * 1. 時間数の合計 |
| 講義 | 演習 | 実習 |
| 臨床病態生理学 | | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| 臨床推論 | | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| フィジカルアセスメント | | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| 臨床薬理学 | | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| 疾病・臨床病態概論 | 主要疾患の  臨床診断・治療 | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| 状況に応じた  臨床診断・治療 | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| 医療安全学 | | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |
| 特定行為実践 | | 時間数 |  |  |  |  |  |
| 場所 | 自　・　協 | 自　・　協 | 自　・　協 |  |

備考

１　様式３別紙１－２は、「共通科目の概要」について、２以上の特定行為区分に係る特定行為研修を行う場合、本様式に記入し1部作成すればよいこと。既に提出している共通科目の研修計画から変更がなければ、本様式の提出は不要。

２　「２．共通科目の研修方法及び時間数」の①共通科目名について、独自の科目名がある場合は括弧書きで併記すること。

３　「２．共通科目の研修方法及び時間数」の①共通科目について、「疾病・臨床病態概論」については、学ぶべき事項の「主要疾患の臨床診断・治療」と「状況に応じた臨床診断・治療」ごとに記入すること。また、「医療安全学」と「特定行為実践」については、一体的に記入しても差し支えないこと。

４　「２．共通科目の研修方法及び時間数」の「場所」については、自施設の場合は「自」、協力施設の場合は「協」を選択すること（両方に該当する場合は、両方選択すること）。研修を行う場所が、指定研修機関の指定を受けようとする施設等の場合は、自施設を選択すること。

５　「２．共通科目の研修方法及び時間数」の「③評価」については、上段に時間数、下段に評価方法を記入すること。評価方法は、通知の別紙７に示す評価方法（筆記試験、観察評価）を書くこと。

６　「２．共通科目の研修方法及び時間数」の「共通科目の時間数の総計」は、共通科目の全ての時間数の総計を記入し、単位は時間で記入すること。

７　記入欄が足りない場合は、行を追加し記入すること。